

平成25年度埼玉県校外教育協会委嘱

校外教育研究 研究紀要

研究主題

「自主的、協力的な態度を育てる体験的な活動の取り組み」



狭山市立入間川中学校

埼玉県狭山市鵜ノ木6番46号

電話 04-2953-3683

FAX 04-2953-3686

1 あいさつ

狭山市立入間川中学校長 川那子 文雄

本校は、狭山市内を流れる「入間川」の河畔にあります。広い敷地と豊かな緑にかこまれた自然環境の中で教育目標である「未来に向けて、たくましく、心豊かで、夢の実現に努力する生徒」の具現化を目指して、日々、教育活動に取り組んでいます。その中で、生徒が体験的な活動に取り組む場面では、活動を通して生徒に自主性や協力が育まれ、更により一層高められることを主眼に置いて活動を実践してきました。また、研究の推進にあたっては、学校での教育活動はもとより、地域でのボランティア活動、隣接する小学校との連携活動など、様々な場を設定して活動を計画して参りました。まだまだ課題も多々ありますが、今後も更に工夫改善に努め、より効果的な体験的な活動の取り組みを進めていきたいと考えています。本研究に際し、多くの皆様に御支援、御指導をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

2 研究の目的

「百聞は一見にしかず、百見は一体験にしかず。」体験的な活動から学ぶものは多い、それもやらされる活動ではなく自主的に考え、判断し、多くの人とかかわり、協力することが生徒の成長につながると考える。そこで、体験的な活動を通して自ら行動できる力を身につけ、仲間たちと将来の夢を語り合える学校を目指し、本研究に取り組んだ。

3 研究の概要

本校では教育目標である「未来に向けて、たくましく、心豊かで、夢の実現に努力する生徒」の具現化をめざして教育活動に取り組んでいる。

その中で、体験的な活動を行う場面については、生徒の自主性や協力を高めることを重視して活動内容を工夫してきた。その内容としては校外行事での体験的な活動、地域や関係機関・小中連携として協働した体験的な活動などを行ってきた。

○学年ごとに実施している「旅行行事体験」

・上野周辺班別行動(1年)・津南町農村生活体験(2年)・京都奈良修学旅行(3年)

○地域清掃・あいさつ橋歩道橋清掃・落ち葉掃き・入間川清掃・赤間川清掃

○ボランティア活動

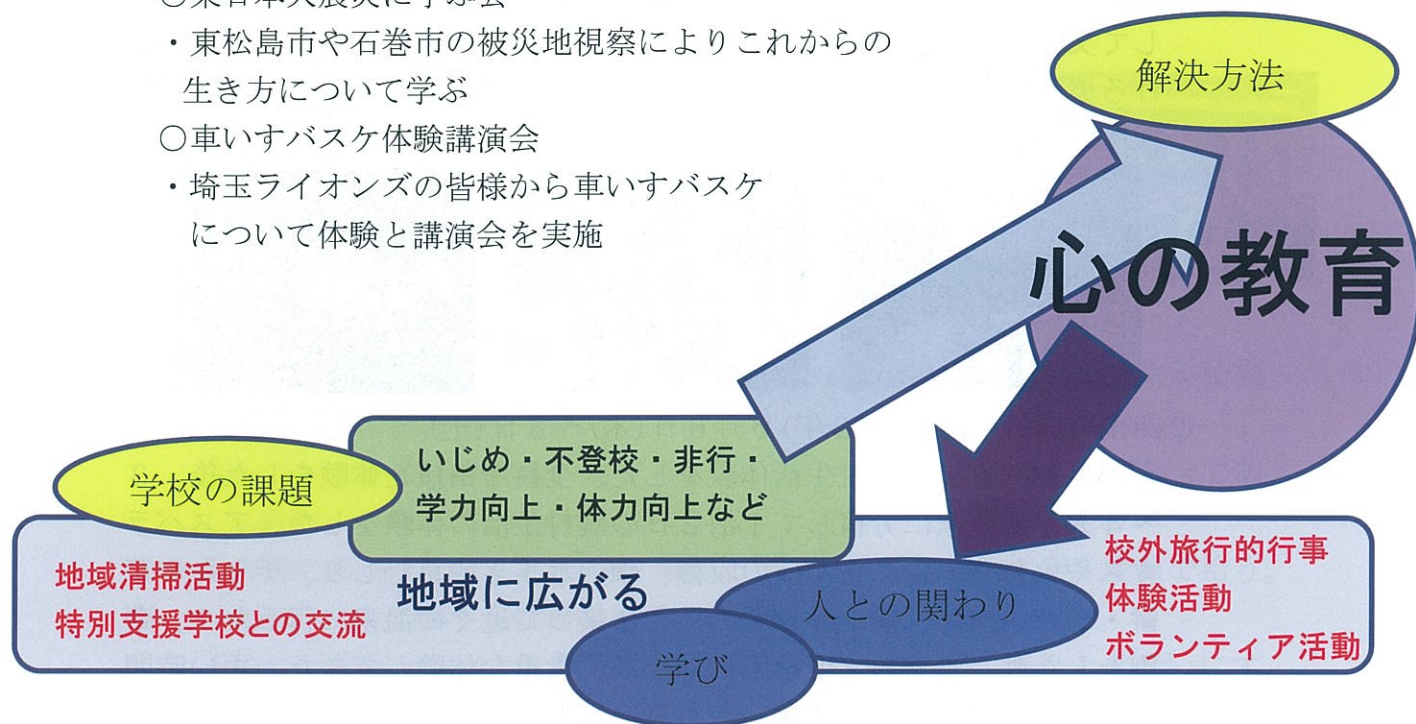
・お花見ボランティア・七夕祭り車いすボランティア・七夕祭り子どもチャレンジボランティア・バザー協力ボランティア・児童館祭り協力ボランティア・稲荷山つつじ植栽ボランティア・百人一首ボランティア・小中学生英語フェスティバル中学生ボランティア

○地域防災訓練・地域防災訓練に中学生が参加して安否確認訓練の手伝い

○狭山特別支援学校との交流

・狭山特別支援学校の中学部の生徒と入間川中学校の1・2年生が歌やゲームで交流

- 学年ごとに実施している「体験的な活動」
 - ・社会体験チャレンジ(1年)・高校模擬授業(2年)・幼稚園保育実習(3年)
- 東日本大震災に学ぶ会
 - ・東松島市や石巻市の被災地視察によりこれからの生き方について学ぶ
- 車いすバスケット体験講演会
 - ・埼玉ライオンズの皆様から車いすバスケットについて体験と講演会を実施



4 研究の取り組み 年間の取組概要

月	校外行事	地域や関係機関との協働	小中連携	その他
4		お花見ボランティア		
5	上野周辺班別行動			
6	津南町農村生活体験	狭山特別支援学校との交流		
7	京都奈良修学旅行			
8		七夕祭り子供チャレンジ 地域防災訓練中学生参加	七夕祭り車いす ボランティア	
9				
10		中学校バザー協力ボランティア 保育実習		
11		児童館祭ボランティア つつじ植栽ボランティア	小学校バザー協 力ボランティア	落葉掃き ボランティア
12		入間川清掃		
1		高校模擬授業 狭山特別支援学校合唱交流	あいさつ橋歩道 橋清掃	
2		赤間川清掃 職業体験	小中学校英語 車いすバスケット	百人一首 ボランティア
3				

(1) 学年ごとに実施している「校外行事体験」

①上野周辺班別行動(1年)5月24日(金)

上野恩賜公園内の施設(博物館・美術館・動物園)を見学し、体験をとおして文化を学び教養を深めることができた。班活動により集団活動における協調性や規律心を高めた。また、校外活動の事前学習として、交通機関の利用の仕方、目的地での見学の方法について学ぶことができた。



②津南町農村生活体験(2年)6月6日(木)～8日(土)

新潟県津南町での農村生活体験をした。全員で田植え体験をした後、3～4人が各農家に分宿して1泊2日の農村生活の体験をした。アスパラガスやいちご・さくらんぼの収穫、畑の水まきや草むしり、チマキや草餅・ジャム作り、軽トラックの荷台に乗って近くの温泉に行ったり、薪割をしたり、食事の支度を手伝ったり、貴重な体験ができた。短い時間であったが家族のように接してもらい、別れが辛いようだった。とても感動的だった。2日目の夜はキャンプファイヤーやフォークダンス・バンガロー体験ができた。



③京都奈良修学旅行(3年)7月11日(木)～13日(土)

社会のルールやマナーについて実践できる力を養い、京都奈良の文化と伝統を学ぶ。1日目は班ごとに東京駅集合、奈良公園周辺を班別行動(自

分たちで考えたコースを巡る。) 2日目は京都班別タクシー行動(自分たちで考えたコースを巡る、昼食も班ごとで食べた。) 夜は歌や踊り、工夫を凝らした出し物を披露した。3日目は清水寺周辺自由行動。主体的で仲間と協力した活動ができた。



(2) 地域清掃

- ①落ち葉掃き 11月28日(木) ~ 2週間、朝の部活動の時間に有志が校庭の落葉掃き清掃を行った。
- ②あいさつ橋歩道橋清掃 1月11日(土) 小中連携で生徒会と児童会とで取り組む。
- ③入間川清掃 12月12日(木) 河原に捨ててあるごみを1年生全員で拾う。入間川中学校健全育成会の皆さんも参加してくれた。
- ④赤間川清掃、毎年2月(今年は雨天中止)「赤間川用水路」をきれいにする活動。地域と学校との協働で、あいさつがあふれる通学路、美しく、安らぎと潤いのある用水路に清掃活動を通して取り組む。入間川中学校の生徒と保護者、健全育成委員会、地域の皆様、教員等が参加した。



落ち葉掃き



あいさつ橋歩道橋清掃



入間川清掃



赤間川清掃

(3) ボランティア活動

- ①お花見ボランティア 4月14日(日)
地域のお年寄りの皆様や車いすの皆様と稲荷山公園でお花見を行った。今年はすっかりお花が散ってしまい葉桜になってしまったが、中学生が参加して皆さん本当に楽しそうだった。
- ②七夕祭り車いすボランティア 8月3日(土)
特別養護老人ホーム「むさしの園」の皆様と一緒に中学生・小学生ボランティアが車いすを押したり、お話をしたり楽しいひと時を過ごした。
- ③七夕祭り子どもチャレンジボランティア 8月3日(土)・4日(日)
生徒会を中心にボランティアを募り、幼稚園児や小学生低学年を対象にヨーヨー釣りやストラックアウトなどのゲームを企画運営して、地域のお祭りに主体的に参加した。よい体験になった。

- ④バザー協力ボランティア 10月12日(土)中学校、11月9日(土)小学校
中学生がPTAに協力してバザーのお手伝いをしました。小学校ではバ
ルーンアート、粘土細工、小学生と楽しく遊ぶストラックアウト、サッ
カーボーリング、中学生ボランティアはとてもよく頑張りました。



お花見ボランティア



七夕祭り車いすボランティア



七夕祭り子どもチャレンジ



バザー協力

- ⑤児童館祭り協力ボランティア 11月2日(土) 狭山市立中央児童館
中学生にボランティアを募ったら5人の有志が参加した。受付、靴袋配
り、食材作り、ゲームのお手伝いなど、よくやってくれた。地域との交
流、貴重な体験ができた。

- ⑥稲荷山つつじ植栽ボランティア 11月30日(土)
地域の稲荷山公園の斜面につつじを植える活動にたくさんの中学生ボラ
ンティアが参加しました。終わりにとん汁会食、地域の人とたくさんの
交流ができた。地域を愛する気持ちを大切にします。

- ⑦百人一首ボランティア 2月1日(土)
市内の中学校3校が集まり狭山市中央公民館主催の百人一首かるた大会
が行われた。その運営のお手伝いに中学生ボランティアが参加した。受
付・誘導・読み手・会食用カレー作りなどの活動をした。

- ⑧小中学生英語フェスティバル中学生ボランティア 2月1日(土)
市内の小中学校の英語好きな児童生徒が集まり、英語フェスティバルを
行った。そのお手伝いで中学生ボランティアが参加した。



児童館祭り協力



稲荷山つつじ植栽



百人一首



小中学生英語

(4) 地域防災訓練参加 8月31日(土)

地域防災訓練に中学生が参加して、安否確認訓練のお手伝いをした。
お年寄りの方や体の不自由な方、家のそばの地域の人などたくさんの人と
触れ合うことができた。いざというときに中学生が役に立つ、助けられる
立場ではなく、助ける立場に中学生がなる。また、地域を愛し地域と共に
生きて行く、そんな心が育ちました。



(5) 狭山特別支援学校との交流会 6月17日(月)

狭山特別支援学校中学部の生徒と入間川中学校の1・2年生が歌やゲームで交流を深めた。子どもたちはすぐに打ち解けあって、仲良くなった。優しい心が育ちます。1月18日(土)狭山特別支援学校主催のハッピーコンサートに本校有志100名ほどが参加した。有志合唱は年間を通して毎週2回昼休みに練習しました。優しい歌声が響くコンサートになった。



(6) 学年ごとに実施している「体験的な活動」

①社会体験チャレンジ学習(1年) 2月12日(水)～14日(金)

地域での職業体験をとおして、地域に親しみ地域に学ぶ。また、職業に対する視野を広め、望ましい職業観や人間形成の基礎を養う。26ヶ所の事業所を2～3人の生徒が様々な活動をさせてもらう。TV局・飲食店・小学校・児童館・こども動物園などの公共施設・小売業・消防署・病院・福祉施設・保育園・幼稚園など。

②高校模擬授業(2年) 1月30日(木)

正しい進路選択ができる力を養う。私立高校・公立高校の8校で模擬授業を行った。生徒は2校を選択し50分授業2コマを体験した。それぞれ工夫を凝らした授業が行われた。理科のたのしい実験・ビジネス基礎・オペラを学ぶ・体育館でランドホッケー・コンピュータ情報処理・高校の日本史など

③幼稚園保育実習(3年) 10月22日(火)・23日(水)・29(火)

本校隣にある狭山ひかり幼稚園でクラスごと保育実習をした。生徒が幼児と触れ合う、将来親になることを考え、体験授業を行った。一緒に遊ぶ・歌を唄う・魚を焼いて食べたり・芋堀をしたり、生徒は疲れを知らない元気な幼児に囲まれ楽しそうでした。



職業体験(1年)

高校模擬授業(2年)

幼稚園保育実習(3年)

(7) 車いすバスケデモンストレーションと講演会 2月6日(木)

小中合同で開催した、ユニバーサル社会への理解を深め、次世代を担う子供たちに様々なことに柔軟に対応できる豊かな心と健やかな体の育成を図ることができた。関東車いすバスケットボール連盟所属「埼玉ライオンズ」による講演・デモンストレーション・児童生徒による体験などの活動をした。



(8) 東日本大震災に学ぶ会 3月16日(日)

東松島市や石巻市の被災地視察によりこれからの生き方について学ぶ。卒業式後の日曜日、3年生徒と保護者、教師、おやじの会、PTA等で日帰りの弾丸バスツアーを行った。今年で3回目になる。地元の皆さんにたくさんの貴重なお話をいただいた。津波の恐ろしさ、命の大切さ、復興に努力している姿、それを応援しているたくさんの人、そんな現実を目の当たりにして、強い気持ち・優しい気持ちが育ちます。生徒は、いつまでも忘れない、関わっていききたい、福祉の仕事につきたい、正しい知識と正しい判断が必要だと感じた話をしてくれた。



5 成果と反省

- ・生徒の様々な体験活動に地域の人たちが係り、地域とのつながりがより密接になった。また、主体的な活動を多く体験することができ、生徒の成長を実感することができた。
- ・ボランティアに主体的に参加する生徒が増えた。また、特別支援学校との交流を通し、思いやり・やさしさ・豊かな心を育てる活動につなげることができた。
- ・生徒が地域の清掃・地域の防災訓練に参加することができて、地域を意識した活動ができた。
- ・心を育てる活動では道徳と関連した活動にする必要がある。貴重な体験を発表する場面を設定するだけでなく、道徳的実践力につなげる場面を設定することが必要であると感じた。
- ・学校の課題(いじめ・不登校・非行・学力向上・体力向上)が少しでも改善された例があるといいと思います。